

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【公表番号】特表 2005-513096 (P2005-513096A)

【公表日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2005-018

【出願番号】特願 2003-554163 (P2003-554163)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/66 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 9/66

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 14 日 (2005.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

溶媒-界面活性剤系に溶けたシクロスポリン又はシクロスポリンの誘導体を含んで成る医薬組成物であって、それは水中に 37 で分散した場合、シクロスポリン又はシクロスポリンの誘導体の 50% 超が直径約 0.45 ミクロン未満の液滴にあるエマルションを形成し、そして当該溶媒-界面活性剤系は；親水性界面活性剤、親油性界面活性剤、及び親水性溶媒を含んで成り、但し：

i) シクロスポリン又はシクロスポリンの誘導体の量は、重量で、シクロスポリン又はシクロスポリンの誘導体、親水性界面活性剤、親油性界面活性剤及び親水性溶媒の合計の 10% 超であり；

ii) 当該組成物は実質的に親油性溶媒を含んでおらず；

iii) 親油性溶媒の量は、重量で、シクロスポリン又はシクロスポリンの誘導体の部あたり 1 部未満であり；

iv) 当該組成物は好適に、100 未満の沸点を有する溶媒を含んでいない、医薬組成物。